

運動負荷心電図でチェックも



# 長嶋サンの入院は人ごとではない

## 怖い不整脈はほかにもある

3月4日に緊急入院した長嶋茂雄さんの脳梗塞は「心原性脳梗塞」といわれるもので、不整脈の一つ「発作性心房細動」が原因だった。実は、この心房細動以外にも、命にかかる不整脈がある。九段クリニックの阿部博幸理事長に詳しく聞いた。

心臓は筋肉の塊で、収縮になると心房の血液と一緒に拡張を繰り返して全がよどみ、血栓が作られる。身に血液を送っている。通常、成人で一分間に60~70回の収縮・拡張(拍動)のリズムを持つ。何らかの原因でこのリズムが乱れるのが不整脈だ。

拍動が速くなる「頻脈」、遅くなる「徐脈」、不規則になる「期外収縮」の3つに分けられる。「長嶋さんを襲ったのは、心房だけが小刻みに震えて脈拍が一分間に200以上になるものの突然感」、といふ。運動によって起こる「運動による不整脈」、発作性の心室頻拍、といふ。長い間続くと死に至ることが多い。心房細動に移行することもある。心房の活動が正常に戻ると死に至ることが多い。心房細動は、心室細動である。

●症状はないが健診で受けた心電図で「ブルガダ症候群」の波形が出ていたと書かれた

●症状はないが健診で受けた心電図で冠状動脈狭窄があると起こりやすいが、突然起ることもある。

●脈拍が一分間に30前後まで落ち、ふらつき歩けなくなつた→頻不整脈

●心筋を動かす電気を作り出す心室細動

●不整脈を解く見てい

然死につながる特徴的な心室細動です。1分間に脈が300回にもなると、心原性脳梗塞によって異なるが、抗不整脈薬を服用すると、ふら心停止となり意識が戻らなくなる。不明に陥る。ポックリ病として不整脈が運動などでストレスが強く、心房細動を固まりにくくする心臓ベースメーカーを埋め込むと、心臓の正常なリズムを取り戻す治療を行います。

●症状はないが健診で受けた心電図で「ブルガダ症候群」の波形が出ていたと書かれた

●心筋を動かす電気を作り出す心室細動

●不整脈を解く見てい

けない。健診で不整脈があると言われたら、症状の有無にかかわらず循環器の専門医を受診した方がいい。

## 脳梗塞を引き起こす心房細動を含めた不整脈に備えろ

長嶋さんの場合は心房救急車を呼ぶこと、心室不整脈の疑いがある場合は冠状動脈狭窄があると起こりやすいが、突然起ることもある。

●心筋を動かす電気を作り出す心室細動

●冠状動脈狭窄があると起こりやすいが、突然起ることもある。

●心筋を動かす電気を作り出す心室細動

●冠状動脈狭窄があると起こりやすいが、突然起ることもある。

●心筋を動かす電気を作り出す心室細動

●冠状動脈狭窄があると起こりやすいが、突然起ることもある。

●心筋を動かす電気を作り出す心室細動

●冠状動脈狭窄があると起こりやすいが、突然起ることもある。

●心筋を動かす電気を作り出す心室細動

●冠状動脈狭窄があると起こりやすいが、突然起ることもある。

●心筋を動かす電気を作り出す心室細動

●冠状動脈狭窄があると起こりやすいが、突然起ることもある。